



突撃!

リスクマネージャー!

121号

医療の安全に取り組む全国のリスクマネージャー様にインタビュー

No.120 半田市立半田病院 医療安全管理室 医療安全管理担当 看護師 清原かゆ 様



【半田病院／愛知県半田市】



【清原様】

■病院の紹介（抜粋）

昭和 24 年 旧中島飛行機の診療所を買収し、
「半田市民病院」開院 病床数 40 床
昭和 33 年 総合病院として認可
平成 16 年 (財) 日本医療機能評価機構の認定病院となる
平成 18 年 病棟再編
平成 21 年 半田市立半田病院改革プランの公表
平成 22 年 電子カルテシステムの稼動
平成 24 年 地域医療支援病院として承認される
平成 29 年 半田市立半田病院新病院改革プランの策定
半田市立半田病院新病院建設構想の策定
診療科の新設・設備の充実・増床を経て現在に至る。

【病床数：499 床】

1. 組織体制について

医療安全に関する組織体制を教えてください。

病院長直下に配置される医療安全管理室は、医療安全担当が医療安全管理委員会と安全専門部会及びセーフティマネージャーと連携し、医療事故の防止と医療の質の向上に努めています。

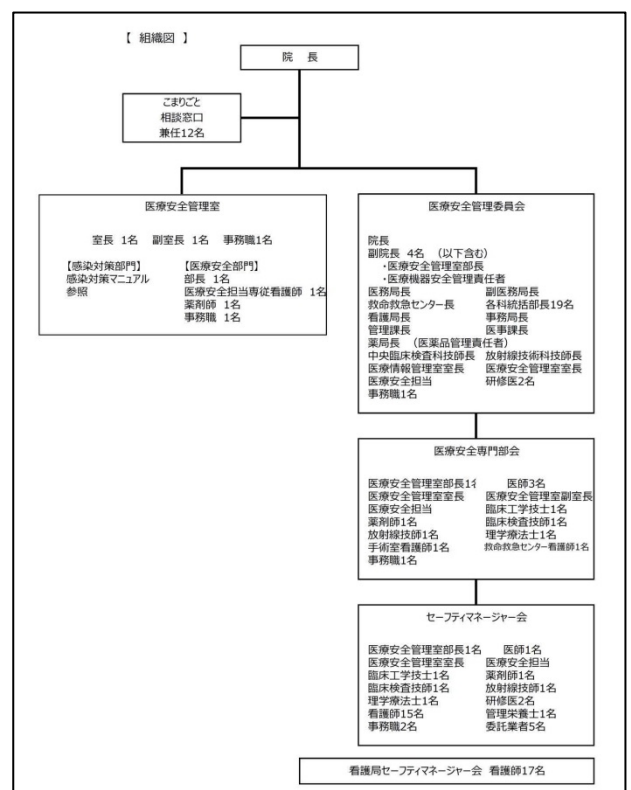
また、知多半島医療圏の他医療施設と医療安全について訪問評価を行い、地域全体の医療安全向上につながる活動を行っています。

■病院の基本理念

私たちは、良質な医療の提供を通じて、地域社会に貢献します。

■病院の基本方針

- 救急・がん・災害・周産期小児医療を含む急性期医療を提供し、基幹病院の役割を果たします。
- 安全で適切な医療を提供します。
- 地域の医療機関や介護施設等との連携を大切にし、地域完結型の医療を提供します。
- 教育・研修病院として豊かな人間性を有する医療人を育成します。
- 常に健全な経営を意識して、安定した医療サービスを提供します。



清原様の主な業務内容を、院内各部署との連携を含めて教えてください。

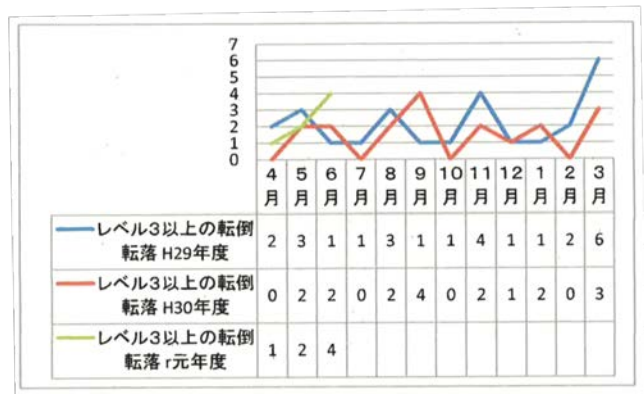
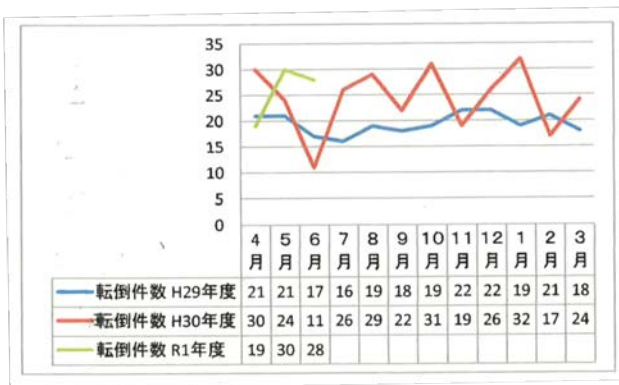
私は専従の医療安全担当者として以下の任務があります。

- ①医療に係る安全確保を目的とした報告で得られた事例の発生原因、再発防止策の検討、再発防止策の職員への周知及びその評価
- ②院内の医療事故防止活動及び医療安全に関する職員研修の企画立案
- ③院内を定期的に巡回し医療安全対策の実施状況を把握し、医療安全確保のための改善・対策を推進する。
- ④医療相談窓口担当者との連携を図り、医療安全に関連した患者・家族の相談に適切に応じる体制を支援する。
- ⑤医療安全対策の体制確保のため各部門との調整・支援を行う。
- ⑥セーフティマネージャー会の開催及び運営。
- ⑦医療安全担当の活動実績を日報として記録する。

2. 転倒・転落事例情報の収集と対策について

近年の事例発生件数はどのように推移していますか？またその原因はどのようにお考えですか？

日本看護協会がデータ収集している看護実践情報（DiNQL）の転倒・転落事故発生率の平均は2.1%ですが、当院は現在1.8%と平均を下回っています。しかし、年々発生件数は増えておりアクシデントにあたるレベル3以上の報告があることも事実で、発生内容や月別データの波の様なものを分析していますが確実な答えが出ていません。



事故軽減のための人的対策や注力されている活動があれば教えてください。

患者さんは元気になって自分で動ける喜びから無理をしまい、リハビリ初日の単独行動で転倒することがありますので、担当看護師から患者さんへの注意喚起や、専従 RM・PT・OT・ST のチームで様々な視点で環境面のラウンドを行って患者さんに合ったものへと改善を図っています。

また、セーフティマネージャー会では34人のメンバーが5チーム（針刺し事故防止・患者誤認防止・誤薬防止・5S・認知症患者の転倒防止）に分かれてテーマに沿って取り組んでおり、年度末には成果発表を行っています。このように多職種で医療安全に取り組むことが当院の特徴といえます。

3. 医療安全に関する研修や他院との連携について

医療安全に関連した研修の取り組みについて教えてください。

以前は、あらゆるテーマに基づいて医療安全対策と感染症対策で1時間ずつ隔月で研修を行っていましたが、長時間にわたることから時間の確保が難しいため、年間テーマを絞って30分ずつの研修に変更しました。勤務時間内に開催していますが、参加調整ができない場合は、研修DVDを観てもらおうようにしています。また参加意欲を高めるように科ごとに参加率表を掲示する工夫をしています。今年は更に工夫をして要点を絞って20分ずつの内容で研修を開催することにしました。

地域の病院と医療安全に関する連携はありますか？

また、医療安全地域医療連携加算制度の取り組みについて教えてください。

医療安全対策地域連携加算の加算1を取得している常滑市民病院・知多厚生病院、加算2の笠寺病院の4病院で連携しています。実地でのラウンドチェックや報告・指導だけではなく、メールなどで日々の情報交換ができるなど良い影響を受けることで医療安全レベルを高めることが出来ています。

4. 離床センサーについて

半田病院様は下記の離床センサーを導入いただいています。

コールマット・コードレス ×25台 / コールマット・徘徊コールⅢ ×4台
タッチコール・コードレス ×5台 / ヘッドコール・コードレス ×5台

離床センサーを使用する場合の基準や効果を教えてください。

アセスメントスコアシートで危険度2以上の患者さんに使用することにしてしています。転倒の未然防止や事故発生時の早期発見に役立っています。また、センサーを外す時の基準も設けています。

※センサー使用に関する工夫については今号の「現場レポート」でご紹介いたします。

5. メーカーへのご要望について

弊社の商品や顧客サービスについてご要望、ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

ベッドや車いすでセンサーを踏まないように設置場所の周囲に赤い印をつけて注意をしていますが、つい乗ってしまって故障することがあります。耐荷重がもっと大きい製品があるという情報も聞きますので、壊れにくい強化された製品を希望します。

6. 何か一言お願いいたします。

病院のPRやポリシーなどをお聞かせ下さい。

救命・がん・災害・周産期小児科医療を含む急性期医療を提供することや、地域完結型の医療を提供することを方針として活動しています。転倒・転落事故や医療事故を防止することや、発生した事案が重大な影響を及ぼさないように意識を高く持って日々活動していきます。